

出席報告

10月22日

先週(10/29)休会
(10/22)の出席者数:26名(3)

10/22出席率:50.98%

※()内数字は出席免除会員の出席者数
会員:59名(免除11名)

	10/1	10/8	10/15
HC出席	34(2)名	35(3)名	休会
MU出席	2(0)名	1(0)名	
修正出席率	72.00%	70.59%	

友人紹介例会ならびに新入会員歓迎会
衛星クラブ合同例会

2020年10月22日(木)
於:オ・セイリュウ



Rotary



HIGASHI-OSAKA EAST R.C.

国際ロータリー 第2660地区 東大阪東ロータリークラブ

CLUB WEEKLY No.2661

国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

会長 齊藤 勝俊

ロータリーは
機会の扉を開く

「会員基盤、そして、
つながりを維持・強化
しよう」



月間テーマ

ロータリー財団月間

例会日:2020年11月5日
(令和2年11月5日)

今日の例会

2020年11月5日

来週の例会

- 本日の卓話
「コロナ禍での高齢者施設の近況について
&ちょこっとロータリー財団」
古川 靖明 君

- 11月12日(木)
卓話「人生と仕事」
広田 甫 君

- 今日の歌 「君が代」「四つのテスト」
ピアノ 岩島 佳子 先生

- 例会後 11月度定例理事会



会長の時間

齊藤会長

「ロータリー財団月間」にちなんで

- 1917年アトランタで開催された国際大会で、6代目のRI会長アーチ・クランプによって、「ロータリーが基金を作り、全世界的な規模で、慈善、教育、その他社会奉仕の分野で、何か良いことをしようではないか」と提言しました。これがアーチ・クランプ基金といわれ、後のロータリー財団の始まりで、1928年の国際大会でロータリー財団と名づけられました。
- ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること(2007年6月管理委員会会合 決定159号)とされています。

2018会計年度、ロータリー財団は、合計86,677,399ドルの補助金を授与しました。その内訳は概要

- ① 教育と識字率向上プロジェクト1090万ドル
- ② 疾病予防と治療プロジェクトに3560万ドル
- ③ 地域経済の発展プロジェクトに1050万ドル
- ④ 水と衛生プロジェクトに 1870万ドル

となっています。

- 3 財団への寄付金を資金とするプログラムは、

- ・地区補助金
- ・グローバル補助金
- ・ポリオプラス
- ・ロータリー平和センター

の4つです。それら詳細については、次週以降別の機会にご紹介できればと思っています。

東大阪東ロータリークラブ

HP: <http://www.higashiosaka-eastrc.jp>

会長: 齊藤 勝俊

創立: 昭和40(1965)年3月4日 例会場: ホテルセイリュウ 例会: 毎週木曜日 12:30~

幹事: 浅浦 哲夫

事務局: 〒579-8012 東大阪市上石切町1-11-12 ホテルセイリュウ302号室

会報資料担当: 田中 邦夫

TEL072-985-0189 FAX072-985-0577 E-mail:higashiohrc@air.ocn.ne.jp

幹事報告

浅浦幹事

先般の友人紹介例会、お疲れ様でございました。
《これからの予定》

【1】 本日、例会後、11月度定例理事会

【2】 11/19(木)第2回指名委員会

<連絡事項>

【1】 本日例会後、こちらの例会場にて11月度定例理事会を開催致します。

委員会報告

職業奉仕委員会
石田委員長

東大阪東RC 職業奉仕事業
「出前授業」の報告

10月23日(金)の午後から、東大阪市立楠根中学校の出前授業に、戸田会員、小畑会員、前田会員、それと石田の4名で行って来ました。

このプログラムは楠根中学校が毎年、1年生を対象に行っておられる教育事業の一環で、外部の専門の講師を招いて実践に基づく興味深い授業を提供する目的で、担当の学年主任が念入りな準備をしておられて、当クラブに依頼があったので8月のお盆休みの間でしたので、なかなか連絡がうまく出来ずに時間が過ぎており、その間にいろいろなところに連絡を取られており今回は総勢11名での出前授業になりました。

30分の授業を生徒さんをいれ替えて2回するというハードなもので、私はオブザーバーで、いろいろな教室を回らせていただき、皆様の授業風景を拝見いたしました。各担任の先生方からは「他の講師の方と比べて、ロータリーの方々は講演なれておられて、生徒が興味津々に引き込まれていくのが良くわかります」と言われまして、さすが我がクラブのメンバーだなと感心いたしました。



戸田会員



前田会員



小畑会員



第1回IM第4組会長・幹事会(金輪会)開催

2020年10月23日(金)17:30より、シエラトン都ホテル大阪にて第1回IM会長・幹事会(金輪会)が当クラブホストにより開催されました。



会員コラム

藤本 良男

入会してまだ10年です!! 入会時の記憶を!! 東大阪東ロータリーに入会して来年の1月でちょうど10年になります。

入会にお世話になった駒林会員と芳田会員の紹介で入会致しました。同期には森本会員と西森会員(退会者)でした。只今新型コロナウイルスで活動も余り出来ない状態ですので、すこし入会時を振り返ってみたいと思います

2011~2012年度の年で入会時はこの年の1月度でした須崎会長、芳田幹事でした、この年度の週報を振り返りました。2012~1月度からの週報で、スローガンは「こころ中をみつめよう博愛を広げるため」でした。

この年は東日本大震災支援することが記されて、また国際大会はタイ(バンコク)で、麗水博覧会ツアーの年でした。参加者は大勢の人が参加されたようです。私はまだ入会して間もないので参加できませんでした。この年の1回目2回目と例会に出席するとたまたま大橋パスト会長が私を新地で見かけたという事で大いに意気投合したものです。やはり入会してまた多くの同級生に巡り合いました、入会3か月までの出会いは私のロータリーの活動に楽しい事となりました。今思い出すと懐かしい限りです。今日やっとロータリー精神の【四つ精神と共に】と社会奉仕と親睦活動がロータリー活動には必要であると思う限りです。まだまだ入会は浅いので色々な人と繋がりを持ってこれからも頑張っていきたいと思えます。

一口情報

会員研修・会員選考委員長
井上 家昌

“ロータリーに学ぶ”

ロータリーは素晴らしい。これは自分がロータリークラブに入らなければ分からないことです。ロータリークラブに入ればロータリーの素晴らしさを是非知っていただきたい。それにはロータリーを理解するための努力と、意欲をもつことが大切でありましょう。学ぶのはあくまで自分です。その為には「自分で学ぶ、先輩に聞く、多くの会合に出席する」ことが大切でありましょう。

私たちは、新しい会員を迎えるためにも「ロータリーとは何か」を明確に説明する必要があります。また、ロータリアンにもその認識を深めることが大切です。そのために国際ロータリーは「ロータリー真の姿委員会」を設置し、議論と検討を重ねてその結論を出したのです。その結果として、ロータリーの真の姿とは“ESS”で表されると発表しました。

- ①ENJOYのE(楽しむ)社会の中で友人と心から楽しむロータリーの特性
- ②STUDYのS(学ぶ)
 - 1)ロータリーから人生哲学を学ぶ。
 - 2) 職業倫理を学ぶ
 - 3) 多くの会員から人生感を学び、自分を少しでも高めて行く。
- ③SERVICEのS(奉仕する) 自分を越えた他人の為に尽くすという最高の人間的行動力
これがロータリーの真の姿と発表されました。“学ぶ”ということについて今季サッカーJ1横浜FCの元日本代表で現役の53歳の三浦知良はこの様に語ります。
「学ばない者は、人のせいにする。学びつつある者は、自分のせいにする。学ぶということを知っている者は、だれのせいにもしない。僕は学び続ける人間でいたい」